

---

## ごあいさつ



日ごろより、小誌「日本財経」をご愛読いただき誠に有難うございます。

皆様ご存知の通り、発刊当初より、中国商務部様からの絶大なるご支援を賜り「日本財経」といたしまして発行をしております。商務部様には今日まで多大なるご協力ご支援を賜り大変感謝を申し上げます。

こうした歴史を踏まえ、今般 10 号の発刊に当たり、同じ中国の国家機関であります、国家発展和改革委員会様より全面的なご協力がいただけるというお話を頂戴いたし、私ども並びに、国際貿易促進協会様（会長 河野洋平氏）とも検討をいたしご協力を仰ぐ決定をいたしました。

従いまして、この 10 号より国家発展和改革委員会様のご協力のもと、新たな中国への日本企業の情報誌として継続発行をしております。と、同時に国家発展和改革委員会様からのご支援を賜ることになりました事を契機といたしまして、小誌も従来の「日本財経」から、「新日本財経」とタイトルも新たにいたし、また、より一層の内容充実も図ってまいりたいと考えております。

中国の事情に詳しい皆様でしたら、すでにご存知かと思いますが、国家発展和改革委員会様は、傘下に国家信息中心と国家経済情報システムを有し、正に中国の国家機関の、中枢の中の中枢にあり、その権威は絶大にして最高の位置にあります。

10 号の巻頭には、国家発展和改革委員会様の雑誌「財経界」の編集長であります、王延平様より、「新日本財経」出版に当たりまして巻首致辞を頂戴しております。

私ども「株式会社メディア・コミュニケーションズ」は、現在、400 を越える海外メディアの日本代表といたしまして業務を行っており、また、同時に日本企業の海外出版物のお手伝いや、海外進出・戦略のお手伝いもさせていただいております。こうした経験を生かし「新日本財経」も国家発展和改革委員会様のご協力を仰ぎ、ますます充実した、かつ、有用で中国社会に貢献できる経済誌に発展させていきたいと考えております。

これからも何卒変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

株式会社メディア・コミュニケーションズ  
取締役会長兼 CEO Simon R. Timmis  
代表取締役社長 露木 公博

---